

令和2年9月8日
中国電力株式会社

クリアランスに関する審査会合（第4回）指摘内容

（全般）

- 審査基準の要求事項に対する結果だけでなく、結果を導き出す根拠、過程を説明すること。それにあたって、他社の審査結果をよく確認すること。

（資料1-1）

- 放射化汚染の計算結果が、 $\Sigma D/C$ が十分小さいため放射化の影響はないと評価しているが、二次的な汚染との比較を行うこと。
- 放射化汚染の評価において、対象核種が幅広く選定されるよう合理的な入力条件を設定していることを示すこと。

（資料1-2）

- 二次的な汚染の評価において、対象核種を幅広く選定するという観点から、評価モデル、計算式およびパラメータ設定値がそれぞれ妥当に設定されていることを説明すること。
- 二次的な汚染の評価において、サイクル毎に算出した放射能の減衰について説明すること。

その他

- クリアランス認可申請の標準記載要領を作成するにあたり、電事連大で協調して進めること。なお、個別の審査状況によることなく、並行して標準記載要領の作成を進めること。

以上